



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル4F (3971) 4144
ホームページ: <http://www.tokyoskikyo.org/>

No.339

発行

2012.5.1

発行責任者・小川 洋

スノージャンボリー2012



目次

スノージャンボリー報告	1-2 頁
春休み子どもスキー報告	3 頁
被災地支援春休み子どもスキー報告 (全国行事)	4-5 頁
山スキー乗鞍岳報告	6 頁
information	7 頁
5・6月のカレンダー	8 頁

2012/3/17-18 志賀高原
「スノージャンボリー」に
参加して

子育ても終わり、初めて家族から離れスノージャンボリーに参加させて頂きました。5年ぶりのスキーで皆さんについていけるか、迷惑をかけないか、不安を抱きながらの参加でした。

一日目は雪から雨に変わり最悪のコンディション！！「バリバリコース」「のんびりコース」2つのチームに分かれてスキー開始。私は「のんびりコース」に参加、久しぶりに滑るので遅れないようにと必死でした。そのうち雨もひどくなり、私の10年前のスキーウェアは防水機能が全く無く下着までびしょ濡れだし、グローブも絞れる程でした。昼食を食べた後は早々に引き揚げ、宿で温かいお風呂に入り、ロビーで皆さんと一杯飲みながら早めの親睦会。いろいろな話が聞けて楽しかったです。

夕食後は明日のコスプレ衣装をお借りするのにみんなでワイワイ大騒ぎ！ 実行委員長の車田さんが隣の部屋で「バカ殿」の衣装合わせをしているので行ってみたら、コスプレ衣装の製作中でした。市販のコスプレ衣装だと思っていたら、なんと手作りなのでびっくり！！皆で縫ったり、貼ったり？ まるで学園祭の乗りでした。皆、凄い！！

二日目は雨もやみコスプレスキー開始。私はメイド服で滑ることになり、おばさんメイドとしては遅れをとらない様、頑張りました。「憲法9条を守ろう！」のペナントを持って皆で記念撮影。大勢でのコスプレ滑走はさすがに目立つ！！いろいろな人に声を掛けられたり、写真を撮られたり、ちょっといい気分！ こうして皆さん、はまっていくのでしょうか？

久しぶりのスキーは、とても楽しかったし、面白い経験ができました。ありがとうございました。

中島幸恵（一般参加）

昨年は震災の影響で中止になった二年ぶりのスノージャンボリーは、なんと雨だった。参加者のうち16名がゲレンデめぐりに出発したときは、ガスっていた。のんびりコースとそこそこ滑るコースの二つに分かれ滑走、一の瀬から寺小屋は雪だったが、ウェアが濡れてくる。ダイヤモンドから奥志賀に向かうが、強風のためゴンドラは停止、やむなくのんびりチームは一の瀬に戻り昼食、その頃は雨でウェアはぐっしょり、滑ることはあきらめ宿に戻る。そこそこチームは奥志賀で昼食後、リフトを使って一の瀬へ戻る。しかし人が重い雪が滑りにくく疲れた。タンネの森で雪に足を取られ転倒し、足首を骨折してしまった事故が発生。パトロールに救助要請を行い、診療所で治療。

二日目は雨も上がり、コスプレ滑降が実施できる。年々コスプレの完成度が高まって、今年もバカ殿、白雪姫、シンデレラ、マリオ、メイドといったポピラーなキャラクターから時代物、アニメキャラクターなど多彩なコスプレで、ゲレンデに出るとスキーヤーの視線が集まる。子供たちや中学生、高校生は知っているキャラクターに大騒ぎ、我々も手を振る

など愛嬌をふりまくと、ますます盛り上がる。リフトに乗ろうとする我々を係員が止めに入る。なんでもだと思っていると、ボードにメッセージを書いてほしいとのこと。そこで「平和を守りスキー・ボードを楽しもう。東京スキー協」と記入。写真も撮ってフェイスブックに載せるとのこと。ちなみに午後には載っていた。その後高天原でトイレ休憩していると、パトロール室からカメラを持って出てきて撮影、HPに載せるとのこと。各地で注目されて、その評価もクオリティーが高く最高との評判だった。

来年もより高みを目指したものにしなければと、もう来年に向かって走りだした。

スノーモンスター 吉田安信



「志賀高原 一の瀬クワットリフト」さんの Facebook より

昨年お休みになったこの行事、今年は開催出来ました。日程は3月23日(金)夜出発、26日(月)までで、スキー場は志賀高原、宿泊は高天原の志賀パークホテルです。参加者は小学生20人、中学生8人、親を含めた大人11人、就学前幼児が1人の40人。指導員を含めたスタッフ18人の総数58人です。去年の中止によりはたして集まってくれるのか心配でしたが、一昨年より少ないとはいえ50人以上の参加でほっとしています。

日程は盛り沢山、2日目のタイムレースは皆が夢中になる親子スキー伝統の行事。スキーが初めての初心者も挑戦して完走出来ました。初めてのスキーは小学生9人。こなゆきの五十嵐民夫さんに9人全てを受け持って頂き、上達は個人差がありました。タイムレースに全員挑戦出来るまでになりました。

今回から限定リフト券の範囲が増え、サンバレーから山の神まで使えるようになり、子供たちが大好きな林間コースも選択できるようになりま

した。とくに東館山の長いコースは楽しいともう1回、もう1回のリクエスト。古めかしいゴンドラも乗り場にいたるやぐらで組んだ橋のコースも興味の対象。横一列で並んで滑っても差し支えない位くらい幅の広い西館山の林間コース、慎重に滑るジャイアント。リフト乗り場まで登りて上手く登る事を覚えとにかく大満足してもらえたようです。ナイタースキーは強風と低温で中止にしました。3日間気温は低く夜の雪でコースは上々。まさに志賀を満喫できたと言えるでしょう。

閉校式にはタイムレースの記録証と参加賞の図書カードを一人ずつ渡し来年もぜひ来てもらえるようお願いしました。

初日からスタッフからはいろいろな意見、提言をしてもらいました。来年のため、いえ、将来続けていくためにも、指導員、スタッフ、参加者の意見を反映し、子供たちに夢を与えられるような行事にしていきたいと思えます。



初スキー、初レース タイムレースにアタック



宮城労山、㈱クレブスポーツ、宮城蔵王ロイヤルホテル、東和旅行社等の協力を頂いて、全国スキー協が主催した「震災復興支援・春休み子供スキー・宮城蔵王えぼしスキー場」にボランティアとして参加しました。

この行事は昨年の全国代表者会議で提起されたものです。当初は「福島」「宮城」「岩手」から宮城蔵王・えぼしスキー場に集合して行事を開催する提案でしたが、実行段階で「福島」「岩手」からの移動距離が長い事等を考慮し、「宮城」は3月25日・26日・えぼしスキー場、「岩手」は3月27日～28日・八幡平リゾートスキー場で開催する事になりました。ちなみに「福島」は埼玉県加須市に非難している双葉町の子供たちを埼玉スキー協が主催する「埼玉スキー祭典」に6人の子供たちを招待する形となりました。

全国ではこれ以外に報告されているだけでも、北海道スキー協が1月22日に福島などから非難している家族を対象にスキー教室を参加者23人、指導員20人で開催。山形・エーデルワイスSCが福島原発事故からの避難者を対象に2回のスキー行事を開催し、それぞれ15人と18人を招待しています。

今回、私の参加した宮城蔵王・えぼしスキー場での「春休み子供スキー」は当初40人の募集人員でしたが、女川町の町議さんや宮城県労連等の皆さんの努力もあり最終的には子供83人、保護者14人という規模になりました。

行事を成功裏に開催するために全国スキー協では3次にわたりカンパとボランティア募集を広く呼びかけました。結果、カンパ290万円、宮城の行事に参加したボランティアは56人となりました。また、岩手県で開催した行事は地元のSAJの会員にも協力してもらい、参加者25人、ボランティア31人で開催されました。東京スキ



お揃いのウェアに着替えて「ドキドキ」のスキー初体験



初めてにしては上出来！

一協でも全国からの呼びかけを積極的に受け止めた結果、カンパで約50万円、ボランティアではシュプールスキークラブ10人、雪舞3人をはじめ三多摩山スキー、こなゆき、コロポックル、豊島、ラ・ランドネ、ウィークデー、みなとしゅぷうる、銀嶺、町田シャスネージュから総勢22人が参加しました。

3月25日朝、海沿いの石巻市、女川町、亘理・山元町からそれぞれ大型バスに乗った参加者が休憩所に集まってきます。参加者の90%が初心者、中には「積もっている雪を見るのが初めて」の子供達もいます。多少の混乱はありながらも、お揃いのレンタルウェアに全国スキー協のゼッケンを着用、名前が書かれたシールを張り、クラ

スに分かれてカレーライスの昼食後、開会式と体操を行いスキー教室が始まりました。

初めての雪の上、歩くのにも一苦労です。指導員・ボランティアも悪戦苦闘の連続です。中には上手く出来ない自分に「涙」をする子や指導員の言うことを聞かずに座り込んで拗ねてしまう子もいます。それでも夕方には殆どの子が緩斜面を滑れるようになっていました。

1日目のスキーが終わり、宿舎になっている「宮城蔵王・ロイヤルホテル」へ到着、広い温泉風呂と露天風呂に子供の歓声があがります。中には3回も温泉にはった子供もいました。夕食は円卓で中華料理、子供にはチョット辛かったのでは？鳥の唐揚げとマーボー豆腐、デザートとの杏仁豆腐が好評の様でした。

夕食後、ビンゴゲームで盛り上がった後は自由



コーチの松浦さんも、子ども達と満面の笑顔



クラスに分かれての昼食

時間、就寝となる筈だったのですが…。興奮冷めやらない子供たちの中にははしゃぎ過ぎて気がついたら朝だった子供たちもいた様です。

子供たちとは別に保護者の方とボランティアとの懇談会を別室にて行いました。保護者の方からは「津波で何もかもが流されてしまい二度とスキーなんて出来るとは思っていなかった。今日が来るのを家族で指折り数えて待っていた」とか「笑わなくなっていた子供が『明日もスキー楽しめるんだよね！』とつぶやいた」等の発言もありました。また仮設住宅は壁が薄く、隣の声が聞こえたりとなかなか気が休まらない、なるべく早く対策を講じて欲しい等、切実な声も…。短い時間での懇談会でしたがスポーツをする権利どころか、まだまだ普通の生活さえも取り戻せていない中で、明るく元気に生きようとする参加者の皆さんの姿に目じりが熱くなるひとときでした。

翌日、かなり豪華な朝食バイキングに舌鼓を打った後、荷物をまとめてスキー場行きのバスに乗り込み2日目のスキーが始まりました。子供たちの上達の早さには目を見張るものがあります。どんどん滑れるようになって行きます。中には一番下にある緩斜面リフトに満足できず、リフトを乗り継いで上まで行く子供たちもいました。

楽しい時間はあっという間です。昼食の牛丼を食べ、カンパを頂いた皆さんへお礼のハガキを書き、午後のスキー教室の後、2時30分にはスキーを終了、レンタルを返却して閉会式。それぞれのバスに分かれて帰路につきました。参加者に書いて頂いた感想文には「ありがとう」「楽しかった」「またスキーがしたい」という文字で一杯でした。自分たちが主催した行事が「自己満足」ではなかった事に確信を持つことが出来ました。

震災被害の中で、辛い事がありながらも元気に明るく、たくましく生きる子供たちの笑顔に、こちらが励まされた2日間でした。

(報告) 2012 第3回山スキー教室・乗鞍岳

山スキーヤー10人が春の天候と雪、滑降技術を学ぶ

山スキー初級者向けの第3回山スキー教室は、3月16,17,18日の3日間、S.C.こなゆき主管で乗鞍岳で行なわれた。10名が参加した。

天候は一日目晴れ、二日目雨、三日目曇り、と目まぐるしく変化、雪質も腐れ雪からモナカ雪、そしてアイスバーンとスキー滑降に苦労した。

一日目は、その後の天候悪化を懸念しゲレンデを飛び出し山へ、リフトを乗り継いでカモシカ平へ、ここからシールを着け、行けるところまで。登りは、深雪と急斜面が続き通過に苦労するものの標高2360mでシールを外し滑降へ、下りは、しかし最中雪の中快適な滑降とまではいかなかったが、いがやスキー場まで滑り降り、宿へ。

二日目は予報通り雨となり、横滑りなど山スキーに有効な技術をゲレンデで講習した。しかし、雨の中、ウェア等の耐水性テストにもなった。



三日目は前日の雨が冷え込んで標高2300m以上は全山アイスバーンになったが、スキーアイゼンをつけて位ヶ原に向かった。初日と同じコースをたどったが順調に進んだ。しかし雪の状況も悪く、2450メートル地点で折り返した。

天候に恵まれず当初の目的地「肩の小屋」までの登高と滑走はできなかったが、位ヶ原下部までの2回の山スキー体験と用具に関する机上講習やゲレンデでの山スキーに必要な講習などを行い、参加者との交流や温泉を楽しんできた。(田畑 記)



information

競技スキー委員会よりお知らせ

※ 第2回スプリングフリーレッスン(かぐら)は吉岡大輔コーチの予定でしたが、苗場スキースクールのコーチに変更になりました。

○第2回スプリングフリーレッスン(かぐらスキー場)

2012年5月12日(土)~13日(日)

参加費: 18,500円(一泊二食、コーチ料) 宿泊: ロッジ三清 025-788-9502

○草津担ぎ上げSLレッスン(先着順定員あり)

2012年6月2日(土)~3日(日) 締め切り: 5月24日(木)

参加費: 18,500円(一泊二食、コーチ料) 宿泊: 不二旅館 0279-88-2274

コーチ: 吉岡大輔コーチ

詳しくはこちら⇒<http://www.tokyoskikyo.org/iinkai/kyougi/kyougi.htm>

山スキー委員会よりご案内

天候が安定し積雪充分のこの時期、立山剣沢山で山スキーの滑り納めを行います。

○立山剣沢山スキー教室

2012年5月18日(金)~20日(日) 締め切り: 5月8日(日)

参加費: 29,000円(二泊四食、講習料、傷害救出基金、事務費) 宿泊: 雷鳥荘 0764-82-1238

打合会(参加必須): 5月8日(火) 19:00 新宿ルノアール(エステックビル)

問合せ先: 東京スキー協山スキー委員会 03-3971-4144

※ 詳しくは、東京スキー協 HP、山スキー委員会のページもご覧下さい。

<http://www.tokyoskikyo.org/iinkai/yamaski/yamaski.htm>

総務局よりご報告

カンパありがとうございます

44期会計年度になって、2012年3月21日~4月16日までに寄せられたカンパ第2次集計分は、下記のような内容です。個人・クラブ・行事参加者の皆様にお礼を申し上げます。

東京スキー協は、震災カンパを東京スキー協の会員で被災したに見舞金を贈り、全国スキー協に贈り、被災した会員のためと、復興支援子供スキーの役に立てます。

震災カンパ 計55,244円

こなゆき/13,244円 三多摩春休みスキー/42,000円

全国スキー協へ直接 計21,200円

中西たみ子/11,200円 鈴木のり子/10000円 (他、三多摩山スキー金額確認中)

— 東京スキー協第45回定期総会、日程のお知らせ —

日時: 2012年6月17日(日)

議題: 第44期総括ならびに第45期方針

※会場等、詳細はクラブへの送付他、次の通信でもお知らせいたします。

5・6月のカレンダー

5月	東京スキー協	全国スキー協	6月	東京スキー協	全国スキー協
1日(火)			1日(金)		
2日(水)	常任理事会		2日(土)	草津担ぎ上げ SL	
3日(木)	山スキー		3日(日)	〃	
4日(金)	*鳥海山		4日(月)		
5日(土)	*八甲田		5日(火)		
6日(日)			6日(水)		
7日(月)			7日(木)		
8日(火)			8日(金)		
9日(水)			9日(土)		全国総会
10日(木)	理事会		10日(日)		〃
11日(金)			11日(月)		
12日(土)	かぐらフリーレッスン	*富士山滑降	12日(火)		
13日(日)	〃	〃	13日(水)		
14日(月)			14日(木)		
15日(火)			15日(金)		
16日(水)			16日(土)		
17日(木)	総会議案発送		17日(日)	第45回定期総会	
18日(金)	山スキー		18日(月)	(編集会議)	
19日(土)	立山・剣岳		19日(火)		
20日(日)	〃		20日(水)		
21日(月)	(編集会議)		21日(木)		
22日(火)	(教育技術局会議)		22日(金)		
23日(水)			23日(土)		
24日(木)			24日(日)		
25日(金)			25日(月)	(通信発行)	
26日(土)			26日(火)		
27日(日)			27日(水)		
28日(月)	(通信発行)		28日(木)		
29日(火)			29日(金)		
30日(水)			30日(土)		
31日(木)					